

## ゴー！ 医見 vol.187 7年ぶりの大槌

二男の大学卒業を機に、仙台に行ってきました。入学時に引っ越しの手伝いで行って以来、4年ぶりでした。4年前、仙台空港まで見送りに来てくれた彼はとても心細げで、私は彼の顔を直視できず、後ろ髪をひかれる思いで別れたものでした。そして今回、4年間の思い出が一杯詰まった街や友と別れを告げる彼の胸中に思いを馳せると、甘酸っぱいものがこみ上げて来ます。

4年間よく頑張ったな。ありがとう、仙台。

### 小川さん一家と4年ぶりの再会

大槌にも行ってきました。もちろん、小川さんに会うためです。そうです、「遙かなる復興への道」で「有名」な小川さんです。小川さんには二男の入学時の引っ越しでお世話になりましたが、それ以来ですから4年ぶりの再会です。震災直後はもちろん、この4年間もいろいろとご苦労が絶えませんが、お元気でした。奥様、ヒカリちゃん、ヒデ君の二人のお子様にもお会いできました。ヒカリちゃんは大学1年生、ヒデ君は高校2年生、大槌高校バスケット部キャプテンです。運よく練習試合があるとのことで、しっかりヒデ君を応援してきました。若者がスポーツに打ち込む姿は清々しく心を打たれるものがあります。しかし、この子たちが将来、大槌の町を立て直すことができるのか？と思うと胸が痛みます。

### 7年ぶりの大槌

小川さんの案内で大槌町内を見学しました。テレビでは絶対に見られない、綺麗ごとやらせも一切なし、真の「復興」の姿を知ることができる、飛び切り上等の見学ツアーです。

津波で壊滅した、役場一帯の中心街は復興とは程遠い状態でした。区画整理はできているのですが、やたらと空き地が目立ち、店舗も数件のみ。たまに見える住宅は殆どが町営住宅。それも空き家が多いということでした。個人の家は滅多になく、今後も増える見込みはないということです。私が行ったのは日曜日の9時頃でしたが、街ではほとんど人に会わなかったし、声も聞こえず、活気と言うものが皆無でした。

### 邪悪な犬たち

大槌の海はとても美しかったです。でも、海岸には高さ数メートルという、津波には全く無力な堤防が造られ、川への逆流は防げる一方で、街に流れ込む津波は逆に増長することになる巨大な水門がそびえていて、グロテスクな風景になってしまっていました。釜石ではラグビーワールドカップの会場の工事が急ピッチで進められています。これが政府の言う「復興事業」の正体です。彼らは住民の生活には全く興味がありません。彼らの目的は復興ではなく事業、

単にお金儲けがしたいだけなのです。

主人が主人なら犬も犬、ここにも邪悪な犬たちが群がっているのです。